



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月3日

上場会社名 塩野義製菓株式会社

上場取引所 東

コード番号 4507 URL <http://www.shionogi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 手代木 功

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 高木 浩樹

TEL 06-6202-2161

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	218,099	3.1	50,520	15.7	51,709	21.4	37,235	31.4
25年3月期第3四半期	211,443	6.4	43,680	—	42,583	23.2	28,340	52.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 63,490百万円 (81.0%) 25年3月期第3四半期 35,071百万円 (205.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	111.18	111.13
25年3月期第3四半期	84.62	84.59

(注) 当社は平成26年3月期第1四半期より訴訟関連費用に関わる表示方法の変更を行っております。このため平成25年3月期第3四半期連結累計期間の営業利益については当該表示方法の変更を反映した組替え後の数値を記載しておりますが、対前年同四半期増減率については算定していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	614,918	471,917	76.2
25年3月期	574,882	423,633	73.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 468,339百万円 25年3月期 420,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	22.00	42.00
26年3月期	—	22.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	284,800	0.7	62,000	4.1	61,000	3.5	43,000	△35.6	128.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は平成26年3月期第1四半期より訴訟関連費用に関わる表示方法の変更を行っております。このため平成26年3月期の営業利益の対前期増減率については平成25年3月期実績を当該表示方法の変更を反映した組替え後の数値を用いて算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	351,136,165 株	25年3月期	351,136,165 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	16,241,275 株	25年3月期	16,236,003 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	334,897,225 株	25年3月期3Q	334,900,647 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,180億99百万円、営業利益505億20百万円、経常利益517億9百万円、四半期純利益372億35百万円となりました。

売上高につきましては、医療用医薬品において、国内市場で苦戦を強いられる中、最重要戦略3品目である「クレストール」「イルベタン」「サインバルタ」をはじめとする戦略品目は堅調に推移し、前年同期比2.0%の増加となりました。海外市場では、米国子会社のシオノギINC.において、前年同期に比べて既存品の販売が安定し、また抗生物質ドリペネムの販売も加わったこと、さらに米国内で販売しておりました非ステロイド性抗炎症薬

「Naprelan®」の品目売却が売上高に加わっていることにより、海外・輸出売上高は前年同期比27.9%の増加と、全体の売上高に貢献いたしました。これらにより、売上高全体では前年同期比3.1%の増加となりました。

一方、利益面では、米国売上の増加及びそれに伴う原価率の改善により、売上総利益が前年同期比6.0%の増加となりました。販売費及び一般管理費につきましては、閉経後陰萎縮症治療薬「Osphena™」の米国での上市に伴う販売関連費用の増加がありましたが、研究開発費が前年同期に比べ少なかったことや、現在取り組んでいる国内営業経費削減努力により、前年同期比2.0%の増加にとどまったことから、営業利益は前年同期比15.7%の増加となりました。経常利益は、営業利益の増加に加え、為替の好影響を受け、前年同期比21.4%の増加となりました。四半期純利益は、前述の利益の増加や固定資産売却に係る特別利益があったことから、前年同期比31.4%の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は6,149億18百万円で、前連結会計年度末と比べて400億36百万円増加しました。流動資産は、主として現金及び預金、短期運用の有価証券の増加などにより、前連結会計年度末より165億56百万円多い2,834億1百万円となりました。固定資産は、主として投資有価証券の評価が増加したことから、前連結会計年度末より234億80百万円多い3,315億16百万円となりました。

負債合計は1,430億1百万円で、前連結会計年度末と比べて82億47百万円減少しました。流動負債は、1年内返済予定の長期借入金75億円の減少、一方で固定負債から1年内償還予定の社債へ200億円の振替えなどがあり、前連結会計年度末より95億58百万円多い1,077億65百万円となりました。固定負債は、上述の社債の振替による減少などにより、前連結会計年度末より178億5百万円少ない352億35百万円となりました。

純資産合計は4,719億17百万円で、前連結会計年度末と比べて482億83百万円増加しました。株主資本は、四半期純利益の計上および配当金の支払などの結果、前連結会計年度末より224億88百万円多い4,512億61百万円となりました。その他の包括利益累計額は、主として為替の変動による為替換算調整勘定の増加などにより、前連結会計年度末より257億40百万円多い170億78百万円となりました。また、新株予約権は84百万円増加し2億7百万円、少数株主持分は29百万円減少し33億69百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきまして、平成25年10月31日発表の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当する事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当する事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当する事項はありません。

(追加情報)

(訴訟関連費用の表示区分の変更)

訴訟に関連する費用は、従来、重要性が乏しいため、訴訟に関連しない法務関係の費用とともに「販売費及び一般管理費」に含めて計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「営業外費用」の「訴訟関連費用」に計上することといたしました。

この変更は、海外取引の拡大に伴い外国企業等との訴訟案件が増加してきており、金額的重要性が増してきたことや、今後もグローバルに活動していくことで当該費用の増加が見込まれることから、改めて表示方法を検討した結果、訴訟に関連する費用については営業外費用に含めて表示することが当社グループの実態をより適切に表すと判断したことによるものであります。

当該表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「販売費及び一般管理費」として表示していた108,417百万円のうち472百万円を「営業外費用」の「訴訟関連費用」として組み替えております。また、この変更により、前第3四半期連結累計期間の営業利益は、43,208百万円から43,680百万円に増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,575	32,270
受取手形及び売掛金	67,908	65,975
有価証券	84,432	100,800
商品及び製品	26,531	30,037
仕掛品	14,024	13,476
原材料及び貯蔵品	8,771	11,208
その他	43,612	29,655
貸倒引当金	△12	△22
流動資産合計	266,845	283,401
固定資産		
有形固定資産	78,473	78,779
無形固定資産		
のれん	40,293	43,589
その他	30,171	29,039
無形固定資産合計	70,464	72,628
投資その他の資産		
投資有価証券	122,628	143,666
その他	36,560	36,531
貸倒引当金	△90	△90
投資その他の資産合計	159,098	180,108
固定資産合計	308,036	331,516
資産合計	574,882	614,918
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,734	11,086
短期借入金	7,500	7,500
1年内返済予定の長期借入金	31,500	24,000
1年内償還予定の社債	—	20,000
未払法人税等	1,146	7,518
賞与引当金	7,134	4,404
返品調整引当金	6,459	4,944
その他の引当金	26	—
その他	33,706	28,311
流動負債合計	98,207	107,765
固定負債		
社債	20,000	—
長期借入金	10,027	10,031
退職給付引当金	8,995	9,205
その他	14,018	15,997
固定負債合計	53,041	35,235
負債合計	151,249	143,001

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,279	21,279
資本剰余金	20,227	20,227
利益剰余金	407,007	429,507
自己株式	△19,741	△19,753
株主資本合計	428,772	451,261
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,055	22,594
繰延ヘッジ損益	△450	△62
為替換算調整勘定	△24,267	△5,453
その他の包括利益累計額合計	△8,662	17,078
新株予約権	123	207
少数株主持分	3,399	3,369
純資産合計	423,633	471,917
負債純資産合計	574,882	614,918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	211,443	218,099
売上原価	59,817	57,431
売上総利益	151,625	160,668
販売費及び一般管理費	107,944	110,148
営業利益	43,680	50,520
営業外収益		
受取利息	225	219
受取配当金	1,015	1,553
為替差益	537	2,399
その他	372	516
営業外収益合計	2,150	4,688
営業外費用		
支払利息	891	692
寄付金	863	997
訴訟関連費用	472	1,058
その他	1,019	750
営業外費用合計	3,247	3,498
経常利益	42,583	51,709
特別利益		
固定資産売却益	228	4,203
投資有価証券売却益	1,017	554
投資有価証券交換益	41,118	—
特別利益合計	42,363	4,757
特別損失		
たな卸資産評価損	—	451
固定資産売却損	240	—
減損損失	39,359	—
投資有価証券評価損	375	—
違約金損失	88	—
特別損失合計	40,064	451
税金等調整前四半期純利益	44,882	56,016
法人税、住民税及び事業税	15,454	6,793
法人税等調整額	1,032	11,928
法人税等合計	16,486	18,722
少数株主損益調整前四半期純利益	28,396	37,293
少数株主利益	55	58
四半期純利益	28,340	37,235

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	28,396	37,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	402	6,538
繰延ヘッジ損益	△52	388
為替換算調整勘定	6,325	19,269
その他の包括利益合計	6,675	26,196
四半期包括利益	35,071	63,490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,018	62,975
少数株主に係る四半期包括利益	53	514

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当する事項はありません。

平成26年3月期 第3四半期業績 補足資料

平成26年2月3日
塩野義製薬株式会社

① 主要製商品売上高

(単位:億円)

	25年下期 予 測	25年度 予 測	25年 10-12月 実 績	24年 10-12月 実 績	25年 4-12月 実 績	24年 4-12月 実 績	対予測 進捗率
国内医療用医薬品	875 (1.7)	1,684 (1.6)	465 (2.9)	452 (△1.3)	1,274 (2.0)	1,249 (0.3)	75.7
クレストール	218	424	106	98	312	284	73.6
イルベタン類	63	130	39	36	106	83	81.2
サインバルタ	58	110	31	24	84	71	76.1
戦略3品目合計	339	664	176	158	501	438	75.5
オキシコンチン類	50	104	31	29	85	80	81.7
フィニバックス	25	48	13	15	36	39	75.2
ディフェリン	23	42	12	11	31	30	74.6
ピレスパ	22	46	14	11	37	34	80.6
ラピアクタ	24	25	4	3	5	4	18.9
戦略8品目合計	485	929	251	228	695	626	74.9
フロモックス	90	165	46	54	121	138	73.3
リンデロン等外用	42	89	22	23	69	70	77.8
クラリチン	36	54	12	13	30	35	54.9
フルマリン	27	55	15	15	43	47	77.9
輸出/海外子会社	177 (12.2)	331 (8.1)	120 (82.4)	66 (△15.1)	273 (27.9)	※ 214 (117.7)	82.6
シオノギInc.	112	207	83	42	179	117	86.2
Osphena	54	55	4	-	5	-	9.8
C & O	31	60	13	13	42	42	70.6
製造受託	37 (32.0)	87 (20.0)	8 (△41.8)	13 (△35.2)	58 (△0.0)	58 (△1.1)	66.5
一般用医薬品	24 (0.5)	47 (△9.0)	11 (△8.3)	12 (△4.8)	34 (△14.4)	40 (0.9)	72.7
診断薬	11 (0.4)	19 (△14.0)	5 (△6.8)	5 (△23.8)	13 (△21.5)	16 (△20.3)	67.0
ロイヤリティー収入	326 (△10.6)	660 (△5.5)	181 (△3.6)	188 (12.2)	515 (△1.3)	522 (2.2)	78.0
クレストール	318	630	167	157	479	464	76.0
その他	11 (5.4)	20 (△3.3)	5 (△13.8)	6 (10.4)	14 (△12.4)	16 (10.4)	69.8
合 計	1,461 (0.3)	2,848 (0.7)	794 (7.1)	741 (△0.8)	2,181 (3.1)	2,114 (6.4)	76.6

()内 対前年UP%

製商品別売上高は単体実績

※ 台湾塩野義製薬(股):決算期の変更により、24年1月~24年12月の12ヶ月分の実績を計上しております。

②-1 四半期別業績推移(四半期別主要製商品売上高)

(単位: 億円)

平成25年3月期	24年4-6月 実績	対前年 UP率	24年7-9月 実績	対前年 UP率	24年10-12月 実績	対前年 UP率	25年1-3月 実績	対前年 UP率
国内医療用医薬品	397	0.8	400	1.6	452	△ 1.3	408	2.6
クレストール	86	2.7	100	13.3	98	4.1	97	6.4
イルベタン類	23	9.3	24	12.2	36	42.4	24	12.7
サインバルタ	22	65.5	25	62.8	24	29.2	26	36.4
戦略3品目合計	131	11.0	149	19.1	158	14.4	147	11.8
オキシコンチン類	26	16.6	25	9.3	29	14.2	22	19.9
フィニバックス	12	23.4	12	△ 2.6	15	6.3	11	3.5
ディフェリン	9	8.4	10	18.4	11	10.0	10	3.0
ピレスパ	11	34.6	12	51.9	11	9.5	11	43.9
ラピアクタ	1	76.2	0	-	3	49.9	16	42.7
戦略8品目合計	189	13.6	209	18.1	228	13.8	216	14.8
フロモックス	44	△ 13.7	40	△ 14.6	54	△ 9.6	42	△ 15.1
リンデロン等外用	24	0.9	23	△ 4.8	23	△ 6.2	19	△ 3.3
クラリチン	13	△ 28.0	9	△ 32.5	13	△ 43.0	28	17.0
フルマリン	15	△ 14.8	17	△ 2.7	15	△ 7.2	13	△ 29.7
輸出/海外子会社	※ 74	71.4	74	-	66	△ 15.1	92	29.0
シオノギ Inc.	35	35.4	40	-	42	2.5	53	26.1
C & O	15	-	14	-	13	40.1	16	58.4
製造受託	23	39.7	22	△ 0.4	13	△ 35.2	15	△ 16.3
一般用医薬品	13	4.9	15	2.4	12	△ 4.8	12	9.9
診断薬	6	△ 20.6	5	△ 16.2	5	△ 23.8	6	△ 12.7
ロイヤリティ収入	160	0.9	174	△ 5.8	188	12.2	176	0.4
クレストール	147	△ 3.5	160	△ 6.4	157	△ 2.0	166	1.0
その他	5	△ 1.3	5	21.6	6	10.4	6	△ 0.3
合計	678	6.4	695	15.3	741	△ 0.8	715	4.3

平成26年3月期	25年4-6月 実績	対前年 UP率	25年7-9月 実績	対前年 UP率	25年10-12月 実績	対前年 UP率
国内医療用医薬品	404	1.9	405	1.1	465	2.9
クレストール	100	16.7	106	5.4	106	7.9
イルベタン類	29	23.7	38	58.2	39	9.6
サインバルタ	26	19.4	26	6.8	31	28.3
戦略3品目合計	155	18.4	170	14.1	176	11.4
オキシコンチン類	27	5.9	27	5.4	31	6.4
フィニバックス	11	△ 7.1	12	△ 3.4	13	△ 12.2
ディフェリン	9	7.2	10	△ 9.4	12	11.1
ピレスパ	12	15.1	12	△ 10.8	14	26.8
ラピアクタ	1	36.0	0	△ 83.4	4	8.1
戦略8品目合計	216	14.4	228	9.4	251	9.8
フロモックス	39	△ 11.9	36	△ 11.0	46	△ 14.0
リンデロン等外用	24	△ 0.4	23	△ 2.3	22	△ 1.6
クラリチン	9	△ 26.0	9	△ 9.4	12	△ 10.6
フルマリン	14	△ 7.9	14	△ 17.4	15	△ 1.5
輸出/海外子会社	84	13.3	70	△ 5.8	120	82.4
シオノギ Inc.	54	53.0	41	4.9	83	96.0
O s p h e n a	-	-	1	-	4	-
C & O	13	△ 14.2	16	13.5	13	2.7
製造受託	24	1.4	26	24.6	8	△ 41.8
一般用医薬品	10	△ 25.2	13	△ 9.6	11	△ 8.3
診断薬	4	△ 22.6	4	△ 34.7	5	△ 6.8
ロイヤリティ収入	140	△ 12.5	194	11.6	181	△ 3.6
クレストール	131	△ 10.9	181	13.1	167	6.0
その他	6	33.2	3	△ 46.2	5	△ 13.8
合計	673	△ 0.8	714	2.8	794	7.1

製商品別売上高は単体実績

※ 台湾塩野義製薬(股): 決算期の変更により、24年1月~24年6月の6ヶ月分の実績を計上しております。

②-2 四半期別業績推移(四半期別連結損益計算書)

(単位:億円)

平成25年3月期	24年4-6月 実績※	対前年 UP率	24年7-9月 実績	対前年 UP率	24年10-12月 実績	対前年 UP率	25年1-3月 実績	対前年 UP率
売上高	678	6.4	695	15.3	741	△ 0.8	715	4.3
売上原価	30.3 206	14.0	28.3 196	0.8	26.4 196	△ 11.2	26.2 188	3.4
売上総利益	472	3.4	499	22.2	545	3.6	527	4.6
販売費・一般管理費	51.4 349	—	51.5 358	—	50.3 373	—	51.5 368	—
販売費・管理費	231	—	226	—	226	—	235	—
研究開発費	118	△ 10.0	132	4.6	147	16.5	133	△ 12.6
営業利益	18.2 124	—	20.2 141	—	23.3 173	—	22.2 159	—
営業外収支	△ 3		△ 10		2		5	
経常利益	17.8 121	3.2	18.7 130	93.4	23.6 175	8.4	22.9 163	41.7
特別損益	△ 4		1		26		△ 29	
税金等調整前四半期純利益	117		131		201		134	
税金費用他	47		52		66		△ 250	
四半期純利益	10.2 69	82.8	11.4 80	79.8	18.2 135	29.9	53.7 384	350.2

平成26年3月期	25年4-6月 実績	対前年 UP率	25年7-9月 実績	対前年 UP率	25年10-12月 実績	対前年 UP率
売上高	673	△ 0.8	714	2.8	794	7.1
売上原価	27.3 184	△ 10.8	26.4 189	△ 3.8	25.4 202	3.0
売上総利益	489	3.5	526	5.4	592	8.6
販売費・一般管理費	54.6 368	5.4	50.7 363	1.3	46.8 371	△ 0.3
販売費・管理費	236	2.2	238	5.4	248	9.9
研究開発費	131	11.6	125	△ 5.8	124	△ 15.9
営業利益	18.1 122	△ 1.7	22.8 163	16.0	27.8 221	27.8
営業外収支	5		△ 11		18	
経常利益	18.8 126	4.6	21.3 152	16.7	30.1 239	36.6
特別損益	6		38		—	
税金等調整前四半期純利益	132		190		239	
税金費用他	23		84		81	
四半期純利益	16.1 108	56.9	14.8 106	32.8	19.9 158	17.5

※ 台湾塩野義製薬(股): 決算期の変更により、24年1月~24年6月の6ヶ月分を計上しております。

平成26年3月期第1四半期より、訴訟関連費用に関わる表示方法の変更を行っております。
このため、平成25年3月期の販売費・一般管理費、販売費・管理費、営業利益、営業外収支については、当該表示方法の変更を反映した
遡及修正後の数値を記載しております。
なお、対前年UP率については、算定していないため記載しておりません。

③ 開発品（2014年2月現在）

領域	開発No. (一般名) 【製品名】	薬効 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
感染症	S-649266	セフェム系抗生物質 (注射)	各種細菌感染症	日本:フェーズ I 米国:フェーズ I	自社	自社
MS	S-556971	コレステロール吸収阻害薬 (経口)	脂質異常症	日本:フェーズ II b	寿製薬(日本)	自社/寿製薬
	S-707106	インスリン抵抗性改善薬 (経口)	2型糖尿病	米国:フェーズ II a	自社	自社
	S-234462	ニューロペプチド Y Y5受容体 アンタゴニスト (経口)	肥満症	米国:フェーズ I	自社	自社
	S-237648	ニューロペプチド Y Y5受容体 アンタゴニスト (経口)	肥満症	日本:フェーズ I	自社	自社
疼痛	LY248686 (デュロキセチン塩酸塩) 【サインバルタ®】	SNRI(セロトニン・ノルアドレナリン 再取り込み阻害薬) (経口)	慢性腰痛症	日本:フェーズ III	Eli Lilly社(米国)	自社/日本イーライリリー社
	S-297995 (Naldemedine)	末梢性オピオイド受容体アンタ ゴニスト (経口)	オピオイド投与に伴う消 化器症状	グローバル:フェーズ III 日本:フェーズ III	自社	自社
	S-117957	神経障害性疼痛治療薬 (経口)	神経障害性疼痛	米国:POM	自社/Purdue社(米国)	自社/Purdue社
	S-120083	炎症性疼痛治療薬 (経口)	炎症性疼痛	日本:フェーズ I	自社/Purdue社(米国)	自社/Purdue社
	S-010887	神経障害性疼痛治療薬 (経口)	神経障害性疼痛	日本:フェーズ I	自社	自社
その他	Ospemifene	選択的エストロゲン受容体モ ジュレーター (経口)	閉経後腰萎縮症	米国:承認(2013年2月) 欧州:申請中(2013年3月)	QuatRx社(米国)	自社/QuatRx社
	S-555739	プロスタグランジンD2受容体ア ンタゴニスト (経口)	アレルギー性鼻炎	日本:フェーズ III 米国:フェーズ II a 欧州:POM	自社	自社
	S-524101	ダニ抗原特異的舌下免疫療法 薬	ダニ抗原による アレルギー性鼻炎	日本:申請準備中	Stallergenes社(フランス)	自社
	S-888711 (Lusutrombopag)	低分子TPOミメティック (経口)	血小板減少症	欧米:フェーズ II 日本:フェーズ III	自社	自社
	S-877503 (グアンファシン塩酸塩)	非中枢神経刺激薬 (経口)	ADHD	日本:フェーズ II/III	Shire社(アイルランド)	自社/Shire社
	S-877489 (Lisdexamfetamine)	中枢神経刺激薬 (経口)	ADHD	日本:フェーズ II	Shire社(アイルランド)	自社/Shire社
	S-588410	がんペプチドワクチン (注射)	膀胱がん	日欧:フェーズ II	オンコセラピー・サイエンス 社(日本)	自社
	S-488210	がんペプチドワクチン (注射)	頭頸部がん	欧州:フェーズ I/II	オンコセラピー・サイエンス 社(日本)	自社
	S-646240	ペプチドワクチン (注射)	加齢黄斑変性症	日本:フェーズ II a	オンコセラピー・サイエンス 社(日本)	自社
	S-222611	HER2/EGFRデュアル阻害薬 (経口)	悪性腫瘍	欧州:フェーズ I/II	自社	自社
	S-414114	NF-κB デコイオリゴ (外用)	アトピー性皮膚炎	日本:フェーズ I	アンジェスMG社(日本)	自社/アンジェスMG 社

<導出品>

開発No. (一般名)	薬効 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
S/GSK1349572 (ドルテグラビルナトリウム)	インテグラーゼ阻害薬 (経口)	HIV感染症	グローバル:申請中(2012年12月) 米国:承認(2013年8月) 欧州:承認(2014年1月) 日本:申請(2013年12月)	Shionogi-ViiV Healthcare社	ViiV Healthcare社 (英国)
ドルテグラビルナトリウム /アバカビル硫酸塩 /ラミブジン	インテグラーゼ阻害薬/核酸系 逆転写酵素阻害薬 (経口)	HIV感染症	欧米:申請中 (2013年10月)	Shionogi-ViiV Healthcare社	ViiV Healthcare社 (英国)
S/GSK1265744 LAP*	インテグラーゼ阻害薬 (注射)	HIV感染症	米国:フェーズII	Shionogi-ViiV Healthcare社	ViiV Healthcare社 (英国)
S-0373	非ペプチド型TRHミメティック (経口)	脊髄小脳変性症	日本:フェーズIII	自社	キッセイ薬品(日本)
Janssen/シオノギ β-セクレターゼ阻害薬	β-セクレターゼ阻害薬 (経口)	アルツハイマー病	欧州:フェーズI	自社	Janssen Pharmaceuticals社 (米国)

*: Long acting parenteral formulation

<「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において開発要請を受けた品目>

一般名 【製品名】	薬効 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
オキシコドン塩酸塩水和物 【オキシコンチン®】	アヘンアルカロイド系麻薬 (経口)	中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛	日本:フェーズIII	Napp社(英国)	自社
デュロキセチン塩酸塩 【サインバルタ®】	SNRI(セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬) (経口)	線維筋痛症	日本:フェーズIII	Eli Lilly社(米国)	自社/日本イーライリリー社
バンコマイシン塩酸塩 【塩酸バンコマイシン】	グリコペプチド系抗菌薬 (点滴静注)	1. <適応菌種>バンコマイシンに感性的のメチシリン耐性コアグララーゼ陰性ブドウ球菌(MRCNS) <適応症>敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷および手術創等の二次感染、骨髄炎、関節炎、腹膜炎、化膿性髄膜炎 2. MRSAまたはMRCNS感染が疑われる発熱性好中球減少症	日本:公知申請 (2013年11月)	Eli Lilly社(米国)	自社

<学会等の要望として開発要請を受けた品目>

一般名 【製品名】	薬効(剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
インターフェロン ガンマ-1a (遺伝子組換え) 【イムノマックス®-γ注】	インターフェロン ガンマ-1a (遺伝子組換え) (注射)	菌状肉肉症/セザリール症候群	日本:申請中 (2013年8月)	Biogen社(米国)	自社

2013年10月からの変更点

ステージの変更	S-649266:開発:自社/GlaxoSmithKline社(英国) → 自社
	S-524101:日本:フェーズII/III → 日本:申請準備中
	S-222611:欧州:フェーズI b → 欧州:フェーズI/II
	S/GSK1349572(ドルテグラビルナトリウム):欧州:承認(2014年1月)、日本:申請(2013年12月) バンコマイシン塩酸塩【塩酸バンコマイシン】:日本:公知申請に「該当性あり」の評価、申請準備中→ 日本:公知申請(2013年11月)、適応症の記載変更
リストへの追加	S-237648:日本:フェーズI
	S-010887:日本:フェーズI
	S-588410(S-288310の2ペプチドとS-488410の3ペプチドを配合):日欧:フェーズII
開発品の削除	S-288310, S-488410: S-588410に統合
	プレドニゾン【プレドニン®】デュシェンヌ型筋ジストロフィー:承認されたため
	プレドニゾン【プレドニン®】川崎病(急性期):承認されたため